

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA IWAKI

いわき経済同友会

3月号／2008年3月1日発行

3つの目的

- 1つ よい社会をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

■とき■
平成20年
2月14日(金)
PM6:30～

2月新春特別例会

公開講演会開催 講師 日本銀行 福島支店長 鉢村 健氏

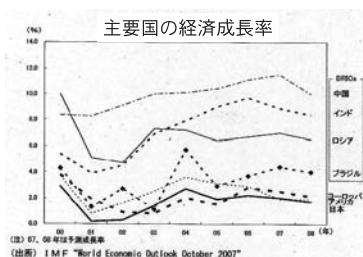
■ところ■
ラトブ6階
いわき産業創造館
セミナー室

「2008年 日本経済から見るいわき地域の経済」



——— 今年の経済展望と地域経済を考える ———

2月14日(木) いわき駅前ラトブ6階いわき産業創造館セミナー室にて、日本銀行福島支店長の鉢村健氏をお招きし、「2008年日本経済からみるいわき地域の経済・今年の経済展望と地域経済を考える」というテーマでご講演いただきました。



はじめに、鉢村氏は戦後世界経済を牽引してきたOECD(西側先進国人口約8億人)の経済成長率が今や2～3%なのに対し、中国・イ

ンド・ブラジル・ロシアといった新興工業国(人口約35億人)の成長は著しく、それらが現在の世界の景気の牽引役になっているのが実情であり、経済のグローバル化は一層進んでいるとの認識を語られました。

そして、今日問題になっている米国の「サブプライムローン」を取り上げ、それは一言で言えば「米国のバブル」であり、その背景には「米国の神話」があると言います。それはかつての日本の「土地神話」があったように、米国のそれは「移民」だそうです。米国には年間200万人が移住(福島県の人口は208万人)するそうで、それら



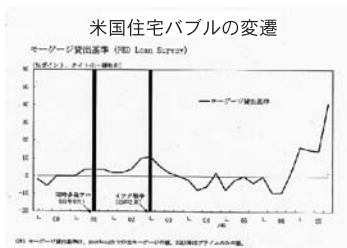
の人々が住み続ける故に住宅の価格は下がらないという神話が生まれたのだそうです。しかし米国における住宅の価格は年収の3倍（日本は5倍）というのが相場で、それが9・11テロ、イラク戦争を境に急激に高騰し、多くのローン返済の滞りが生じ、それら

を担保する債権が不良債権化するというバブル崩壊が生じ今日に至っているとのことでした。

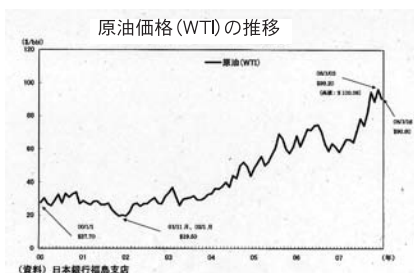
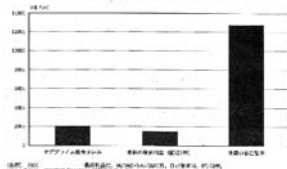
そのサブプライムローンの損失は2000億ドル（20兆円）といわれ、それはかつての日本のバブル崩壊時の損失に比較すると1/5程度といわれるそうです。日本がその損失の穴埋めに15年を費やしたことからこの問題の解決にはその1/5の期間、つまり3年は必要だろうと予測されていました。さらに、最近の原油の高騰はより確実な投資先を求める投資機関（石油産業従事者ではな

い人々）の金が石油に流れた結果とも言っておられました。これに象徴されるように、現在の世界は「物づくり」ではなく、大量のお金を動かして利益を得る「マネーゲーム」に左右される社会の様子を呈しているが、日本も例外ではないということをお示しになりました。かつて日本は富国強兵の掛け声の元、外貨獲得のために工業化を進めたが、福島県も日本銀行が全国で6番目、東北で初めて支店を開設し

「シルク生産」の促進のために多額の資本が投下されたという歴史があり、今日県民はあまり自覚していない

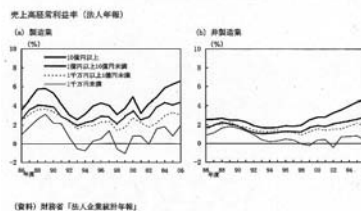


サブプライム損失規模と米銀のバランスシート

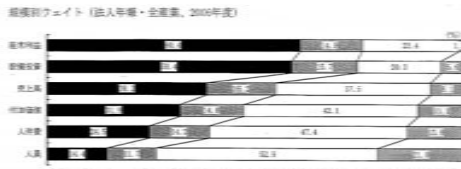


が、福島県は「物づくり東北NO1」であり、それは青森、秋田、岩手の3県の合計に匹敵する製造品出荷額であり、とりわけいわき市の製造出荷額(1兆円)は東北で1位の実績を持つと報告いただきました。大いに自信を持つべきとおっしゃりながらも、国内従事者の14%を擁する大企業が利益の60%を占めるという格差社会にあって、福島県は今後人口減少も鑑み独自の視点で努力すべきとも語ってありました。特に、いわき市は小名浜港という港湾施設をもっと機能させるべきで、その背景となる潜在成長力で全国第6位に上げられる福島県の力量と情勢を紹介し、発展の源を港湾物流の観点から担うことが重要と説き、ひいてはそれが「企業誘致：誘致だけではなく地元との絆が強くなるような関係を作る」「交流人口：その核となる人々を育成する」「地産地消＝外部に売れるブランドとして育成する必要がある」の促進に大いに寄与するとの見解をお示しになり講演を終了されました。

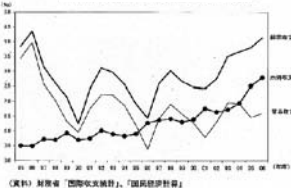
大企業と中小企業(1)



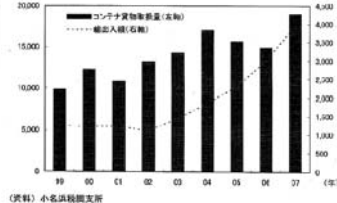
大企業と中小企業(2)



経常収支の推移(対名目GDP比率)



小名浜港貨物取扱量



1月グループ会報告

観光グループ会

- 日 時 1月30日(水曜日)19:00～
 ■場 所 LATOB 6階 会議室
 ■内 容 只今開催中の『いわきフラオンパク』
 (温泉博覧会)について

湯本温泉古滝屋若だんなの里見善生様に「いわきフラオンパク」について裏話を含め、お話を伺ったので、以下要点を報告します。

- (1) オンパクは5年前の別府温泉が第一号。その時に見学に行ったらすぐ真似できると思ったが、やってみると非常に難しかった。今回の湯本でのオンパクは全国で三番目となる。
- (2) 旅行が従来の「団体旅行・発地型」から「個人旅行・着地(滞在)型」に変遷している中、湯本に滞在してもらう為の素材探しが必要。テーマを「温泉のちから」「まちのかほり」「フラのこころ」「おいしい食」「健康と美」の5つに絞り、最初6人で準備をスタートさせた。
- (3) 2007年1月頃より素材を探し、Blush Upしてゆく作業を地元を歩きながら手作りで実施し、今回は60種類のメニューを用意できた。2万部作成したガイドブックだけでなく、街中お散歩マップや地元の飲食店にも協力を仰ぎ、「1コインランチ」や「英雄ちゃん晩酌セット(1,000円)」を提供してもらえるお店のマップ(チラシ)も作成した。

- (4) 元気な町・人づくりをする事業がオンパク。今回は2009年秋にJRも協賛して実施する予定となっている。

- ・ラトブ内『いわき産業創造館』の施設見学を実施。



環境グループ会

- 日 時 1月22日(火曜日)6:30～
 ■場 所 イタリアンコート
 ■内 容 新年会を兼ねたグループ会議
 会員8名の参加の下、始めに武藤グループ長より
 昨年の活動に対し労いの言葉をいただきました。
 また、今年は、残る2ヶ月で活動の纏めの作業も
 あり会員各位の協力をお願いし、芳賀さんの音頭
 で乾杯、懇親会に入りました。雑談の中、来年度
 からグループ編成が変わることに触れテーマを環
 境問題一つに絞るのではなく、身近な問題からテ
 マを取り上げた
 らどうか等の意見
 も出、次回のグル
 ープ会にて検討す
 ることにしました。



情報グループ会

- 日 時 1月23日(水曜日)18:30～
 ■場 所 報徳苑
 ■内 容
1. 同友会活動報告
 - 1) 1月度幹事会報告
 - 2) 活動状況報告
 2. 検討事項(次年度情報委員会への申し送り事項)
 - 1) 同友会HP運用について
 - ① 自社ページの変更について簡易手順書の作成配布
 - ・企業規模によっては変更や掲載に対する優先順位低い(時間がとれない)
 - ・会としての支援(ページ作成)の検討(有料・無料検討要)
 - 2) 運用ルール決定
 - ① 完成度高いが、定期的に変更していくルールを作る(1回/月のメンテ)
 - ② 専任化を推進する。片手間では出来ない。(専門業者との連携も考慮する)
 - 3) 地域関連HPに貼り付け依頼する。(見える機会を増やす)



誕生月花プレゼント
2月誕生月の山口弘之さんに松崎副代表幹事より
ペコニアをプレゼント



3月グループ会ご案内

- 環境グループ／3月18日(火) PM6:30～
ホテル美里(湯本) まとめグループ会
- 福祉グループ／3月25日(火) PM6:30～
場所未定 まとめグループ会
- 情報グループ／3月19日(水) PM6:30～
バー クイーン まとめグループ会
- 観光グループ／3月26日(水) PM6:30～
割烹 一平(小名浜) まとめグループ会

会員はどのグループ会にも出席できます。
グループ長にお申し込み下さい。

3月まとめ例会

日頃より会の運営に付きまして、ご理解ご協力を賜りまして厚く御礼を申し上げます。
各グループ会においては、2期に亘り新たなビジネスモデルの創出を柱にグループ長を中心に
各種セミナー、先進地の視察など活発な会の活動を展開して参りました。今回の例会は、その成果
をご報告頂きたいと思ひます。

終了後は、懇親パーティを開催いたしますので、会員相互の親睦を深め、グループ長、各委員長様
の労に感謝をし、まとめの例会とさせていただきます。年度末で何かとご多用中、誠に恐縮ではござい
ますが、ご参加ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

3月14日(金) 会費 3,000円

於/八幡台 やまたまや

TEL 63-1288

通常例会、グループ会報告 午後6時30分～
各委員会、事務局検討委員会
ホームページ検討委員会
まとめ例会懇親会 午後7時10分～

送迎バス 酒席を考慮し送迎バスを準備いたしますのでご利用下さい。

・いわき東急イン前(5時00分)～内郷駅(5時15分)～湯本駅(5時30分)～
小名浜町づくりステーション(6時00分)～八幡台やまたまや 着

いわき経済同友会
ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。
お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

発行 いわき経済同友会 里見 潤
編集 広報委員会 清水雅昭
委員 中田博道・前田 敦・田村慎太郎・山崎勇喜

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館4F
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211
<http://www.seaiwaki.jp>
E-mail: doyukai@triton.ocn.ne.jp